

株式會社  
博文館印刷所

No. 三六四七一 電話 六八・五八・四八・三八・二八 四三三

群蜂に一石を投ぜ、如く混沌たる中に本舎は  
超然として團結の實體を確立し綱領に示す如く  
輝然として頭角を現はし凡ゆる労働運動も  
継続し社會的に進展し、かつとも務めて労働者の  
振調も甚き乙會社に對しは公認を迫らざるも  
頑固なる役員本舎は仲し諾否を決せしむるな  
く時の移るに任せ敢て求めず自覚を誦通心本  
るゆゑ益なきも悟り遂に同年十月となすや果せ  
る哉神田方面に同工は八時間制存任員金を値上げ  
を叫びて突発し自給目足り不足もいとほが旬々  
に亘る抗爭一たび新工は勸発し大なる争

月 日